

第12 ビジョンの推進に向けて

① 基本的な考え方

ビジョンに掲げた先導プロジェクトやその他の施策を推進するに当たっては、京都に関わる産学公及び市民の役割分担と共汗が必要となる。様々な主体がそれぞれの役割を果たすとともに、各々の垣根を越えて相互に連携する持続可能な好循環を作り出すことにより、「新価値創造都市・京都」の実現を図る。

(1) 企業・事業者

産業活動の主役である企業・事業者は、技術や伝統に支えられた知恵を生かして新しい価値の創造に努めるとともに、地域経済の活力の担い手として、雇用創出や市民生活の向上に貢献する。

また、ワークライフバランスの実現に向け、安定的かつ働きがいのある労働環境を整える。

(2) 学術研究機関

大学をはじめとする研究機関は、高い教養と専門的能力を備えた人材を育成するほか、共同研究等を通じてその成果を企業へ還元することにより、産業の成長と地域経済の発展を牽引する。

(3) 市民

市民は産業の振興による雇用創出や税収増加による市民サービスの向上など地域経済の活性化を通じて、豊かな市民生活を享受する。また、こうした産業振興の重要性を理解するとともに、地域経済の担い手としての企業活動を応援する。

(4) 経済団体

経済団体は、行政と企業を結ぶ役割を担うとともに、企業・事業者の利益の拡大や地域経済の振興、社会福祉の増進等に努める。

(5) 行政

行政は、地域の経済団体や金融機関、更には周辺自治体との連携の下で、京都の魅力発信や産業支援環境の整備などの施策を財源の確保を含め総合的かつ計画的に推進するとともに、各主体が求められる役割を果たすための支援を行う。

② 点検・評価

ビジョンの推進に当たっては、毎年次に事業の進ちょく状況を把握、評価するとともに、変動する社会・経済環境に応じた、柔軟かつ機動的な点検、対応を行う。

「京都市産業振興ビジョン(仮称)」策定検討委員会委員名簿（敬称略・50音順）

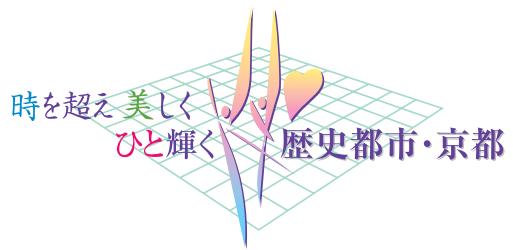
安藤 源行	京都府中小企業団体中央会副会長、(協)日新電機協力会理事長
大石 友子	京都学園大学経営学部教授
柿野 欽吾	京都産業大学経済学部教授
川北 真史	京都工芸繊維大学デザイン経営工学科教授
川端 基夫	関西学院大学商学部教授
※金田一弘雄	日本銀行京都支店長（平成22年7月15日まで）
国吉 浩	近畿経済産業局地域経済部長
佐々木雅幸	大阪市立大学都市研究プラザ所長
◎篠原 総一	同志社大学経済学部教授
渋谷康一郎	日本銀行京都支店長（平成22年7月16日から）
高崎 秀夫	京都銀行代表取締役頭取
武田 一平	京都経営者協会副会長、ニチコン(株)会長
辻 理	(社)京都経済同友会常任幹事、サムコ(株)社長
中村 行宏	(財)京都高度技術研究所所長
西村 周三	元京都大学副学長、国立社会保障・人口問題研究所所長
浜 矢子	同志社大学大学院ビジネス研究科教授
林 知代	市民公募委員
林 泰彦	(社)京都工業会副会長、福田金属箔粉工業(株)社長
細井 浩一	立命館大学映像学部教授・副学部長
細見 吉郎	京都市副市長
前川 重信	京都商工会議所化学部会副部会長、日本新薬(株)社長
○牧野 圭祐	京都大学産官学連携本部長、副理事
森井 保光	京都市産業観光局長
山口 栄一	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
山下 晃正	京都市企画理事・商工労働観光部長（平成22年7月21日から）
米田 真依	市民公募委員

◎印 委員長、○印 副委員長、※前委員（肩書きは委員就任時のもの）

「京都市産業振興ビジョン(仮称)」策定検討部会委員名簿（敬称略・50音順）

江川 博	京都市産業観光局産業振興室長
金井 萬造	立命館大学経済学部教授、(株)地域計画建築研究所会長
○川端 基夫	関西学院大学商学部教授
中沢 孝夫	福井県立大学経済学部特任教授
堀池 雅彦	京都市産業観光局商工部長
◎山口 栄一	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授

◎印 部会長、○印 副部会長



発行

京都市産業観光局商工部産業政策課

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地

075-222-3325

京都市印刷物：第223280号
